

第18回NPO法人UT Aの輪セミナー資料

2020年3月15日～17日

会場 琵琶湖グランドホテル

心はいつも動いています。あなたは、意識、波動、エネルギーです。今も、今もあなたの心は動いています。あなたが生き続けている証拠です。あなたは肉を動かしているから、生きているのではありません。あなたはその意識の世界で今も動き続けているんです。活動しています。その活動がどんな活動なのか、自分の心を見て知ってください。エネルギーを感じていってください。

わたしたち
私達は肉ではありません。意識、波動、エネルギーです。このことをあなたの心でしっかりと知っていきましょう。心で知っていくんです。心で知るといことはどういうことでしょうか。あなたの心の中を見るということです。

心はいつも動いています。あなたは、意識、波動、エネルギーです。今も、今もあなたの心は動いています。あなたが生き続けている証拠です。あなたは肉を動かしているから、生きているのではありません。あなたはその意識の世界で今も動き続けているんです。活動しています。その活動がどんな活動なのか、自分の心を見て知ってください。エネルギーを感じていってください。

瞬間出すエネルギー、そのエネルギーこそ自分自身です。だから、そのエネルギーを忌み嫌うことなく、自分の中の温^{ぬく}もり、優しさ、喜びの中にどんどん、どんどん吸収して行ってください。その仕事をしてまいりましょう。肉を持ってきた私達です。これが肉を持ってきた意味です。

私達は凄まじいエネルギーを蓄えてきました。肉を本物とする中で、凄まじいエネルギーを垂れ流してきました。これこそ我的世界なりと。

どんなに立派な文言を並べようが、凄まじいエネルギーで自分の宇宙を汚しまくってきた愚かな自分達だったということに気付いていくべきなんです。もうその時期は到来しています。どうぞしっかりと心を見ていきましょう。そして、心を見ていく中で、あなたの中の宇宙を思^{めいそう}う瞑想を始めてみてください。母の温もりをしっかりと心に感じていると思うならば、その母の温もりの中で、あなたが作り続けてきた宇宙、闇黒の宇宙をどんどん思い起こしてください。その宇宙こそ、私達が帰るべき宇宙、母なる宇宙が呼んでいるんです。闇黒の宇宙をどんだん溶かしていきましょと、溶かして行ってくださいと、そして、母なる宇宙へひとつになっ進んできなさいと母なる宇宙からの呼び掛け、いざないがあります。

これが250年、300年に至る時間の中で私達がするべきことなんです。250年後の再会を目指しましょう。250年後、肉を持って、そして私達は再び、あの母なる宇宙へ帰ろう、次元を超えていきましょといういざないを、肉を通して感じるこ

とができます。

もちろん、肉のない仲間達もたくさん、たくさんいます。

肉のあるなしにかかわらず、私達は心をひとつにして、母なる宇宙へ帰る、次元を超えていくという大きな、大きな意識の流れの計画に沿って存在していく喜び。その喜びを今、肉を持っている今、肉を通してあなたの心にどんどんどんどん伝えていってください。

【ホームページより】

① 思うは田池留吉です。思うは田池留吉一筋の生き方を自分は本当にしているのか、確認、確認の日々をお過ごしください。肉を持てば、やがてその肉を置いていく時がやってきます。その時まで、その瞬間まで、田池留吉を思う、自分が生まれてきた意味を心から知る、自分に肉を持たせた思いにありがとう、繰り返しそこへ戻っていきましょう。

肉のことは程々に。肉の喜びと幸せが本物の喜びと幸せになるように。

② 寝ても覚めても田池留吉一筋の道。それでもまだまだ不十分でしょう。それほど肉に塗れてきた私達です。肉、形を本物として生きてきた気の遠くなるような時間です。それを心に抱え肉から意識へ自分を転回していくのは、そんなに容易いことでは

はありません。ここをしっかりと留め置いてください。それを踏まえて、少しでもほんの少しでも自分の歩みに、これからの時間に、明るい兆しが心に感じられたら、素直にただ素直に喜んでいきましょう。

たとえ、道遠し、道半ばであっても、愛へ帰る道、田池留吉一筋の道を生き抜いていく心意気で今世の学びを終えてください。他力の道を歩いてきた私達です。本当の自分を裏切る、捨てる中に生きてきた私達です。今世を疎かにしては、自分のこれからはないというところまで、しっかりと自分の中を確認してください。

厳しく、しかし、ゆったりと喜んで自分を知っていける時間をお過ごしください。「今世を自分の転換期にします。」自分との約束果たしてください。

③ 学んでいるならば、決断すれば真っ直ぐに突き進む、ただそれだけです。そういう生き方をしていきましょう。少なくとも学びについてはそうです。一度決断すれば断行です。もちろん、他力の中を生き続けてきた私達ですから、そう一筋縄ではいきません。その心を溶かし、ともに生きていこうと思いを向けていけるのは、自分の中に温もりがあるからです。怯むことなく、恐れることなく、ただ真っ直ぐに自分の中の真実、愛に向かっひるていこうと、自分に力強い呼び掛け、いざないをしてください。

道は自ずと開けていきます。肉を生かす道ではありません。肉を生かす道ではないけれど、中がこの道、ここだ、ここだと信が深

まっていけば、同じことを肉が体験しても、楽に生きていけるから、結果として、肉も幸せということになります。形を見れば大変だ、厳しいということも、自分の行く先を確定できている心強さは、そういうものをちっぽけなものとしてしかとらえません。所詮は肉のこと。そんなことよりも、比べることができない大切なものを心はとらえたという充実感で、何とも言えない幸せ、喜びが感じられます。

④ 今、肉を持っているから、その肉を通して色々なことを見て、聞いて、瞬間出るエネルギーを学ぶことができます。瞬間出るエネルギーを確認して、そのエネルギーとともに瞑想をする時間をしっかりと持つ、そういう日常を繰り返していける今がありがたいということです。

清く、正しく、美しくなんて全くのでたらめです。そんな人など、この世に存在しません。みんな凄まじい、おぞましいエネルギーを垂れ流してきたんです。

真っ黒、真っ暗を吐き出して、吐き出してきたことを、今、肉を持っている今、しっかりとはっきりと心で知ってください。

そうすれば、それでもこうして肉を自分に用意してきたことがどんなにすごいことなのか、これこそ愛の中にある自分達だからなんだと、自ずと心に響いてきます。

それが自分の中で分からない、感じられない限り、自分の行く先は依然として真っ暗闇の中だということは明白です。

愛を捨てた、愛である自分を捨てたことがどういうことなのか、

私達は心で知らなければなりません。

⑤ 正しいものなんて何もありませんでした。何もありませんでした。ここはここだけは、これだけはと頼みの綱がそれぞれにあるのではないのでしょうか。ですが、ひとつ離し、ふたつ離していく方向に自分を進めていきましょう。完全に離していくことは難しくても緩めていく、弱めていくことは可能でしょう。とらわれなく、こだわりなく、自分を解き放していく生き方、そんな生き方が徐々に出来ていけば、楽に生きていくことが幸せなんだ、喜びなんだと感じてきます。

正しいものなんて何もなかったと心で気付いていく難しさと同じくらい、私達は元々幸せでしたと心で分かっていくことも難しいです。

幸せも喜びも温もりも形で示されてこそ実感を伴うという中に生き続けてきたから、心で感じ感じたものを信じていくことも実際は難しいのではないのでしょうか。

本当に肉に生きてきた心に、波動、意識の世界だけが真実を物語るということがしっかりと浸透していくには、まだまだ時間がかかりそうです。と言っても猶予期限は300年です。まさに天変地異という展開は半端なものではありません。文字通り天変地異です。地軸が傾くんです。想像を遥かに超えた現象と言えるでしょう。

⑥ 宇宙。大きな課題でした。今の肉を通してようやく、その大

きな課題に向けて自分を進めていける確信を持てたこと、それは真実の波動との出会いがあったからでした。計画してきたこと、望んで、望んで、心から望んできたことが、現実のものとして自分の中に響き伝わってくる喜びと幸せ、ありがたさです。これは言葉を尽くしても言葉を重ねても、尽くしきれない表現できない感覚です。

ああ、本当に宇宙を思える今がやってきたんだと、思いを向けていけばそう繰り返し、繰り返し伝わってきます。

ともに思いを向けよう、ともに思いを馳^はせていこう。肉、形の中には何もなかった。何もなかったのに、偽物の自分が作り出してきた世界で自分を苦しみの奥底に突き落としてきたんです。そんな自分を本来の自分に返していきましょう。温もりの喜びの安らぎの世界へ帰っていきましょう。

真っ暗闇の中から這^はい上がってきた意識、それが私達です。ようやく這^はい上がってきたから、今世を足掛かりにして、必ず、自分達のふるさと、母なる宇宙へ帰る道をしっかりと歩いていきましょう。

⑦ 自分の中に思いを向ける。宇宙にはたったひとつの自分の世界が存在することを感じ、ああ、ここだ、この世界だったんだと思えるようになっていけば、もうそれだけでいいと分かってきます。

形ある中で、肉という形を持って自分がどんなに賢く泳ぎ回っても、それで心が満たされることはあり得ませんでした。一時の

充足は次の瞬間、暗い、真っ暗闇の中へ吸い込まれていきます。そんなことをずっと繰り返して、繰り返して生きてきたことを知りましょう。

今だからこそ、自分の過ちに気付いていけるのです。ただ、気付いていこうという思いはあっても、なかなか素直にすんなりと他力の思いを離していくことは難しいのが実際です。何が他力なのか、それすら分かっていないかもしれません。何が他力か、全部他力でした。本当の自分を捨て去り、忘れ去ったから他力の中にずっとあったということを、しっかりと知るべきではないでしょうか。そして、それがどういうことなのか、それはそれぞれの心で学んでいくしかありません。学んでいくために300年が用意されています。ラストチャンスです。

⑧ 思うは田池留吉です。これしかないんです。どんな理屈、思いを語ろうとも、「あなた、田池留吉の世界を知っていますか、信じていますか。」のメッセージにどのような返答ができるかだけです。口先ではなく、心の底からの思いを語れますか。

語れるのなら、「本当にその通りです。私が全部間違っていました。」という返答しかありません。

思うは田池留吉一筋の道。この道をただひたすらに真っ直ぐに喜んで、喜んで歩いていける人生、これがたったひとつの喜び幸せの人生です。

その通りだとあなたの心で頷いているならば、それをただ決行していただくだけです。

たった一本の道を突き進むという揺らがない思い。喜びで次元を超えていきましょう。そして、さらなる進化を遂げていきましょう。まだまだ遙か遙か遠いです。しかし、見えているんです。感じられるんです。この道を歩いていけばいい、この世界にひとつに溶け込んでいけばいいと。

肉から意識へ自分を転回していきましょう。全く次元が違っていました。

今世の出会いを本当に大切にしてください。

⑨ 自分に用意してきた肉、環境、その他本当の自分に帰る道を確立するために用意してきたもの、それらを今世こそしっかりとその目的に沿って最大限に活用して、予定通り、望み通り、250年後の三次元最終のお勉強に備えましょう。

次元を超えてやってきた私達です。再び次元を超えて、自らの愛の世界をしっかりと広げていく学びを計画しているはずです。肉、欲ではなく、自分の中の切なる思いに沿って、その計画をそれぞれに進めてください。

三次元のお勉強、大変、大変難しかったです。まだまだ道遠し、道半ば、そういう表現が適切だと思います。

しかし、意識の流れの計画では、それもあと僅かです。それぞれに自分の中で結果を出して、その出した結果を自ら受けていくという意識の世界は、何も変わりはありません。

全部自分で選んでいくことです。その中で自分は何を本当に望んできたのか、今世、明確に自分に伝えていきます。今という時、

今世の肉を通して、意識の世界の岐路に差し掛かっていることを感じてください。

⑩ 学びをしていけば形が整ってくるということを、自分はどうのようにとらえているか、それもまた自分の中の他力のエネルギーを確認するのにいい問いかけだと思います。

肉で何もなければ、確かに気分よく学びをしていこうと前向きになるでしょう。けれど、肉で何もないことはないんです。表面に出てきているか、水面下かということで、いずれは形を通して自分の心に自分が伝えてきます。

肉で何かがあるからいいんです。学びをしていけば、そこで自分なりに立ち止まって、色々と思いを馳せていくでしょう。学びをしていない人は、心を外に向けるだけです。そこが違います。心を外に向けていくのと、中へ向けていく大切さ、喜びを知っているのとは、同じような現象があっても、そこから思い描く世界が違ってくるということです。

それを本当に喜んでいけるかどうか、やはり肉、形で言うところのプラスだけをプラスとして捉えたいとしているのか、そこに他力のエネルギーが見え隠れしています。

思うは田池留吉一筋の道。それだけが喜びの道ですが、極めて難しいということも、それぞれの時間の中でしっかりと学び取ってください。

⑪ 本当のことを知ってその道をしっかりと生きていこうとし

ているのか、それとも、まだまだ肉、形ある世界に思いの比重を傾けている、いいえ、やはり形あるものから抜け出せないでいるのか、見た目は同じようであっても、全く違う世界に別れていきます。

思い、意識の世界は目に見えません。目に見え、実感できるものだけを信じてきた長い時間があります。肉という魔物の世界。そこから自分を解き放していく難しさをまだまだしっかりと自分の心で体験しなければならないでしょう。

そんなに意識の転回は容易いものではありません。けれど、不可能ではありません。だからこそ、田池留吉の意識の世界が肉を持ってきたし、私達もまた相当の決意で生まれてきたのです。

肉の喜び、幸せ、楽しみは本当に程々にして、全く違う生き方をしていきましょう。本当の意味で自分を大切にする生き方を今世始めましょう。

⑫ 心を向ける、向けられる喜びをどんどん感じていますか。瞑想をする時間を生活の中で確保してくださいとお伝えしています。そういう生活習慣の中に身を置くということは、学びをしていくについて絶対に必要なことです。そして、瞑想をするのが当たり前ということになっていけば、あと何をしていても、ふっと瞬間思うというのも当たり前となってきます。

友と歓談していても、テレビを前にしていても、スマホを片手に持っていて、例えば仕事、家事等で忙しくしていても、ふうっと思える瞬間は絶対にあります。そういう瞬間を大切にそして楽

しんでください。

何を思うか、思えばいいのか、心で分かってきたならば、元々自分は幸せだったんだと自ずと分かります。

肉に生きて、あれもこれもと触手を伸ばし、ああでなければこうでなければと自分勝手に苦しみの中へ落ちていった私達だったと言えると思います。肉の自分を高め、肉の世界を極めていけばいいという生き方は、決して自分が望んできた生き方ではなかったと言えるのではないのでしょうか。

帰りたかった。もう帰っていこう。自分の中でその思いをしっかりと聞いてください。

⑬ あなたの周りの人達、世の中の人達が何を語り、どんな思いで日々生活をしようとも、あなたの心の向け先は自分の中です。自分の中の自分、本当の自分をしっかりと知って、そしてその本当の自分と向き合う時間を過ごしましょう。

本当の自分と向き合うということは、偽物の自分と向き合う、偽物の自分をどんどん本当の自分に吸収させていくということです。

それが自分と自分の中で生きていく醍醐味^{だいごみ}です。これこそが肉を持ってするたったひとつの仕事です。

その喜びと幸せ、そこからくる充実感、これは形ある世界からは決して出会えないものです。

どんなにお金を持っていても、形の世界での立派な看板を背負っていても、絶対に喜び人生とはならないことを、今世こそしっ

かりと心で知っていく、そんな今世としてください。

それでなければ、今世生まれてきた意味がありません。今世をそのように位置付けてください。そして、心から望んできた本当の自分との出会いを心で果たしていくというこれからの転生を大いに楽しんでいきましょう。

⑭ 肉から意識への転回。250年、300年の時間を必要とするでしょう。激動の時間。肉の思いをきっちりと転回していく喜びの時間でもあります。

それがなければ、次元を超えていくことはできません。三次元から自分を解き放つことができないということで、もはや今のように肉を持つ環境もなく、肉を持つことさえできないところで、暗闇の奥底に自分を沈めていくしかないということになります。宇宙のもくずと表現しています。しっかりと現実を心でとらえていきましょう。何も恐れるとはありません。ただ、自分の帰るべきところを心で知って、その方向に自分を合わせていけばいいだけです。

素直に喜んで温もりの世界へ、愛である自分を目指してともに帰ろうの呼び掛け、いざないに応じてください。

⑮ 真剣に、真摯に、素直に、ただひたすらに、という表現しか出てきません。愛、心のふるさと愛へ帰る道は険しくて厳しくて、けれど喜びです。いいえ、喜びだけなんです。険しい、厳しいと感じるのは、それだけ私達が本来の軌道から遠くに外れた

ところにあるということでした。

もう帰らなければなりません。心がそう叫んでいます。これからの時間の中で、さらにその叫びは大きく強くなっていくでしょう。

それが私達の本当に望んできたことだからです。意識である私達は意識の流れの中にひとつになって存在していくことが自然なんです。自然に逆らっては何も見えてきません。真っ暗闇の中に自ら沈んでいくだけです。

はっきりとしています。意識の世界は、はっきりとしています。目を覚ましましょう。肉、形の世界から自分を解き放していく勇氣は喜びです。喜びの世界へ飛び込んでいく喜び。その喜びこそが私達のあるべき世界でした。

⑯ 今世、始まったばかりだと伝えました。愛、心のふるさとへ帰る道筋を今世の肉を通して、初めて示されたのでした。難しいはずです。気の遠くなるような間違いだらけの道を歩いてきたのだから、方向転換をしていきましょうと伝えていただいても、なかなかすんなりとはできないというのが現実のお話です。

それでも、それでも、瞑想をして田池留吉を思い、アルバートを思い、来し方を思えば、もうどれだけ間違ってきた自分だったかということは、どなたの心にも響いてきているはずです。

間違ってきたけれど、帰るべきところがあったということが心で感じられて、ただただ何とも言えない喜びと安らぎを感じて

いるということも事実だと思います。

やっていこう。みんな、みんな間違ってきたのは同じです。真っ暗闇の奥底からようやく這い上がってきたのも同じです。同じならば、みんな、みんな本当の意味で、素直になって喜んで、愛へ帰る道、自分のふるさとへ帰る道を歩いていきましょう。決めるのはあなたです。決断をしてください。心の中にすべてがあったから、見ていくのはその自分の心だけだということを知っていきましょう。

⑰ ただ一点を思い、その一点とともに肉を流していく生き方を始めましょう。今世が初めてだから大変難しいけれど、やっと何をするために自分は生まれてきたのかということを心で知ったならば、そういう生き方に^{おの}自ずとなっていくます。自分に肉を持たせたということ、その思いに触れてみてください。全く違った観点から生まれてくるということを思っていけるようになっていきましょう。そこを変えていかなければ、これまでの転生と何ら変わることはない転生です。あっという間に年月が流れ、年老いて肉体細胞の機能も低下して、また真っ暗闇の奥底に沈んでいく経路をたどっていくでしょう。

心で自分の声を聞いてください。なぜ自分は今ここにこうして肉を持っているのかと。肉がどんなに恵まれ喜び幸せの時間を持って、どうでしょうか、自分の中の切なる思いを^{かな}叫べられなかったならば、どんな思いでその肉を離していくかということです。その思いを心で感じられるあなたに今、変わって行って

ださい。宇宙が、たくさんの宇宙の友が待っています。あなたが変わっていけば、たくさんの宇宙が変わっていきます。ともに生きていきましょう。

⑱ 学びに触れさせていただいたこと、繋がったこと、これが何よりも、何よりも幸せなことでした。自分が計画してきたことですが、本当に見事に的中したありがたさを感じずにはいられません。

宇宙へ帰りたい、帰ろう、帰ります、やっと心の中の思い、叫びが現実のものとなってきた流れを感じ、喜びで思える時間にありがとうしかありません。

思う喜び、思える喜びを味わい、肉の時間を終えていく今世にしていきましょう。今世を転換期にして、生きていく方向を変えてください。

学びに触れさせていただいたこと、繋がったこと、その幸せを心にしっかりと感じ、自分を大切に、大切にしてください。そして、肉から意識へ自分を転回していきましょう。それは思うは田池留吉一筋の道を生きていこうということです。たったひとつの喜びの道、幸せの道です。それぞれの心で感じてください。感じていける自分に復活してください。

⑲ 今世をラストチャンスととらえてください。今世の学びを通して自分の心に感じたものを足掛かりにして、それぞれにこれからの転生を迎えます。

何度かあります。それらの転生を経て、必ず自分を250年後に繋ぐという確信を持って、今の肉を置いていってください。

それが今世、ラストチャンスだと言っている意味です。今世、自分の中に足掛かりをつけることなしに、250年後の出会いは難しいと思ってください。

厳しいと思うならば、どうぞ、正しい瞑想をしてこのことが厳しいことなのかどうなのか、自分の心で確認してください。

あなたの中の本当の自分、田池留吉の世界はどう語ってくるのか、それを参考にして、自身の生きる方向を定めていってください。

次元移行という意識の流れは粛々と仕事をしているというのは確かなことです。これもまたそれぞれの心で確認できればと思います。

⑳ ともに行こう、ともに生きていこう、そんな力強い呼び掛け、いざないに心で応えていける喜びと幸せを存分に味わっていきましょう。今の肉を通してどんどん伝わり響いてくる波動、エネルギーの世界があります。

目を閉じてしっかりと自分の心の針を向けて合わせて、そしてその波動、エネルギーを受け止めてください。もちろん、それはあなたの外からくるものではありません。あなたの中からどんどん湧き起り、噴き上がってくる喜びのエネルギーです。

そのエネルギーはあなたの中の間違った真っ暗闇のエネルギーをしっかりと伝えてくれます。帰ろう、帰ってきなさいと自分が

自分に伝えている様を、しっかりと心で感じそして、伝わってくる波動の世界、エネルギーを楽しんでいきましょう。よかった、嬉しい、ありがとう、そんな思いで、自分の中の宇宙、自分自身が本当に喜んでいることを感じてください。苦しみではなかった。真っ暗闇の中にいたけれど、まだまだ真っ暗闇だけど、それがたまらなく嬉しいということでしょう。なぜならば、帰るべきところを知ったからです。みんなとともに宇宙の友とともに帰れる喜びと幸せにようやく巡り合った感触があるからではないでしょうか。